

2017 Japan National Team Report ” 国代表”



報告者氏名	小菅 正幸
大会名	2017 IODANORTHAMERICAN CHAMPIONSHIP
開催地	カナダ トロント
大会期間	2017JUN.25~JUL.2

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、JODA 海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA 理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく客観的な立場から、詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要です（文中に貼り付けて下さい）
 2. 他国OP艇を接近して撮影する際は、必ず相手国の選手、コーチの了解をとって下さい

開催地域の様子	トロントの中心街の南の対岸にあり街全体を見渡せるトロントアイランドにあるRCYCで行われました 開催期間中にカナダの建国記念日にあたるカナダデーもあり、花火やイベントで賑わっていました 天気が良ければ30°Cを超え、雨が降ると20°Cを下回り、風が冷たくて水温が低い為体感温度の差が激しい
宿泊場所	GEORGE BROWN COLLEGE の学生寮でDKと完全に分かれた個室2部屋を2人で使用 別のフロアにキッチンとコインランドリー（カード対応）、ビリヤードや卓球が出来る部屋があり非常に快適でした 会場のRCYCにはバス7分とフェリー10分を乗り継ぎますが乗り継ぎが悪いと時間がゆかり、バスは朝と夕方しかなく1回の輸送能力が少ない為問題ありで何度も歩きました
大会の対応は	霧が出やすく出艇するが出口で曳航の状態に2時間以上待たされることが2回と手際の良い運営とはいえ、決勝のフリートレースの日に消化できなかったチームレースをするために早く帰したりとレイダーのない日程に疑問を感じた
選手たちの コンディションは？	温度差や急に変化する天気ストレスを感じた選手もいたようだったが、大きく体調を崩す選手はなかった 体調管理は各自でしっかり出来ていたように感じた
役員として気がつけた ことは？	今回はAGM等のミーティングも無く、サポーターも同じ宿泊場所だったこともあり役員としてといった行動はなかったので、チームのバランスを考えてサポートすることを心掛けた

海外の選手を見て感じたことは？	特にUSA チームは準備や動きが速く、ON-OFF の切替がはっきりしていて動きに無駄がないと感じた
日本の選手を見て感じたことは？	今回は3人の選手が3回目の海外遠征ということもあり、初めての選手にも気を配られており良いチームワークだったように思いました
Spare day の過ごし方は？	ありませんでした
日本チームとしての課題	今回の大会では42条違反が非常に多く取られました 国内の大会から厳しい目でみる必要があると感じました
JODAへの要望	特にありません
その他	

ご協力ありがとうございました

JODA海外派遣委員会